

新宮山彦ぐるーぷ第2259回

## 行仙宿モノレールの延伸工事

(10月13日着工〜10月23日竣工)

一日目 10月13日(金)

詳細は第2258回を参照

二日目 10月19日(木) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、湯川一郎 3名

午前9時、登山口に山彦の3名とカマハラテックの4名が集まる。今日は以前も工事に当たった沢井君も来ている。

明日は天川村の現場作業なので、今日は午前中だけの工事で午後から橋本市に向かい宿泊します。と説明があった。



4人はモノレールで



工事現場で



行仙宿に着く

「歩いて登ります」とのことだったが、作業時間を十分にとつてもらうため、4人にはモノレールで登ってもらい、我々3名は歩いてモノレール終点に向かう。終点を過ぎ崩落地の少し先で4人が作業していた。13日と同じように4人が役割分担して着々とレールを伸ばしている。暫く見学してから小屋に向かった。小屋、管理棟を簡単に整理し、昼食後ペットボトルなどのゴミを持って下山を始めた。



本日の参加者

第2ベンチの手前まで

残りの距離を測る

第2ベンチが見えるところまで来ると、レールが第2ベンチの10m程下まで伸びているのが見えた。作業している4人の姿は無い。モノレールの搬器も無いので、登山口に降りているようだ。

第2ベンチでしばらく待っていると、レールから音が聞こえだし4人が登ってきた。11時過ぎに荷揚げしていた資材が無くなり、作業を打ち切ったらしい。明日からは主任が東海君から沢井君に代わるようだ。

沢井君から「終点予定地と、そこまでのルート確認をしたい。それと今後のレールなどの資材量算定のため、残りの距離を測りたい。」との話があり、梶野、沢井、東海の3名が終点予定地に向かった。終点予定地から沢井、東海の二人が巻尺で距離を測りながら第2ベンチの下まで降りてきた。

終点予定地や途中のルートに問題は無く、我々が想定したルートにレールが敷設されることになった。距離は160mだった。明日、明後日と工事を行なう予定だそうだ。



4人が下山

階段を造る

下山

明後日21日は熊野修験行者堂落慶法要に8人が出席、翌22日には行仙宿での行事があるので、20日と21日は山彦の工事立会いは無し、と伝えてカマハラテックの4人はモノレールで下山した。沖崎、湯川の2名でレールが横切っている旧終点下に階段を5段作って登山道の変更を行った。梶野君は尾根筋の新登山道をチェンソーで整理した。

(記：沖崎)

#### 行動タイム

09:00 補給路登山口↓10:00 工事現場↓11:50 行仙宿 12:55↓13:08 工事現場↑14:55 補給路登山口

三日目 10月20日(金) 晴後雨

山彦の立会い無し

工事区間；第2ベンチ下から展望地(目印のポール)前後まで  
作業を終えて帰社後に沢井君から電話があり「午後3時からパラパラと雨が降り出したので工事を切り上げた。めっちゃくちゃ寒かった。」と連絡があった。

四日目 10月21日(土)

山彦の立会い無し(熊野修験行者堂落慶法要出席のため)

工事区間；展望地から終点手前15mまで

五日目 10月23日(月) 晴

◇参加者 梶野照雄、湯川一郎 2名

カマハラテック 3名

工事区間；終点手前15mから終点まで

月曜日で吉野まで車が多く、3時間強かかって登山口に着いた。

レールやパイプなどの資材は全て片付けられて、工事開始前の状態に戻っていた。前方に停まっていた車から一人が降りてきて完工の報告を受ける。積み荷が重いと急に急傾斜で停めると搬器が下がってくるので、パーキングブレーキを必ず使って欲しい。弱っていたバッテリーも交換した。との説明もあった。支柱パイプを少し分けてもらえないだろうか？と聞いてみると「10本ほど降ろしときます」とのことだった。



昼前に到着

バッテリーは交換済

湯川君と合流

モノレールに水道水を入れたポリタンク2個と背負子を積んで登りだす。旧終点の少し上で湯川君が休憩中だった。先日自身が滑った個所を整備したそう。湯川君は午前10時前に登山口に着き、歩いて終点に着くとレールは終点に達していて、カマハラテックの3人は片付け中だった。3人が降りるのを見送って小屋まで行き、下山途中で休憩しているところだった。水を小屋に持って行く、と伝えると「一つ持って行きます」と言い、モノレールで終点に向か

った。



午前10時の登山口



登山道の改修



作業を終えた3人



水を小屋に運ぶ



本日の参加者



終点の搬器

終点は予定地点ピッタリで、思っていた通りだった。しかしレールの高さを考慮していなかったため、登山道から荷台までが80cmほ

どあり、人の乗り降りや荷物の積み下ろしに支障がある。切り株ま  
で搬器を下げると50cm位になるので、この位置にプラットホーム  
を設置したいと思う。

小屋迄の時間を測ってみた。普通に歩いて約7分。歩数が1, 1  
00歩、距離は700m弱だった。

小屋にポリタンクを置いて下山、湯川君が使った道具を旧終点に置  
いて登山口に戻った。



道具を収納



下山



板を切る

湯川君には先に帰宅してもらい、中前さん寄贈の足場板を階段用に  
切った。長さを160cm、幅を60cmとしたが、長さは150cmで  
もいけそうだ。現場で調整しようと思う。

(記：梶野)

### 行動タイム

11:40 補給路登山口↓12:18 モノレール旧終点↓12:30 モノレ  
ール終点↓12:45 行仙宿↓12:58 モノレール終点↓13:13 モノレ